

新しい地域おこし協力隊員を紹介します

のしろ かな
苗代 夏菜 活動場所：富士見高原創造の森



【着任】令和2年10月
【業務】富士見高原創造の森の
管理・運営・環境整備

みなさん、はじめまして。私は東京で庭や緑地の設計をし、十勝の観光ガーデンでキッチンガーデナーとしてカフェの運営やガーデナーの仕事の働きながら学び、昨年10月にここ、富士見町に来ました。今は創造の森の植生調査や管理、またコンセプトプランの策定も進めています。

趣味は旅行と庭巡りで、欧米の緑地を見に行ったり、地域おこし協力隊の仕事もソロキャンプや車中泊をしながら信州の庭を巡って出会いました。

富士見町は全国的に見ても植生が豊かで、特に創造の森は専門家も驚くほど山野草が豊富なところ。それを活かす管理を行い、来る人により富士見の自然を感じてファンになってもらう、そんな思いで活動しています。これからよろしくお願いします。



▲成長を見守る植物に
マーキングをして残します

東京都出身の苗代さんは大学を卒業後、企業で公共緑地の設計業務を担当しているとき、「植物相手なのに机の前ずっと居たらダメだ！」と感じ、自然と人と関わる【観光ガーデン】関係業務への転職を決意したそうです。

地域おこし協力隊として着任した後は、創造の森の植生を調査しながら、必要以上に手を加えず自然の力を活かす、持続可能な【ナチュラルガーデン】を目指し、精力的に活動いただいています。

創造の森へお越しの際は、彫刻だけでなく美しい自然も楽しんでみてください。

「富士見高原創造の森」は巻頭ページで特集しています！→

ゆめひろばの「てっちゃん」でおなじみ 地域おこし協力隊・荒川鉄男さんの任期が終了しました

荒川さんの退任あいさつをお伝えします

『ゆめひろば』担当の地域おこし協力隊、『赤い服の人』、『てっちゃん』（荒川鉄男）は、6月21日で3年の任期が終了しました。任期中、ゆめひろばで子ども達と一緒に過ごさせていただき、本当にありがとうございました。

私の仕事は、「ひろばの安全、管理、企画、運営」というものでした。実際は、草取りをしている時も、大型遊具の周りの砂を柔らかくしている時も、子ども達が寄ってきて、「てっちゃん何しているの？手伝ってあげる」と言ってくれたり、「お母さんがいなくなっちゃった」と泣きながら助けを求めてきたり、単純に「てっちゃん、遊んで」と走ってきたり、そんなことがある仕事でした。どれも大切な思い出です。

本当は、大人達のためのゆめひろばとして、「自由に音楽を演奏」「自由に小商い」「夏はビアガーデン」などもやりたかったのですが、どれもコロナで難しくなり心残りです。私は退任後2か月ほど家庭の事情で実家に帰りますが、どうか皆様、「ゆめひろば」をよろしく願いいたします。ゆめひろばは、特定の管理人が仕事をしながら子ども達と近い存在で常駐し、安心感のある場所になっていました。どうかこれが良い方向で継続されることを祈っています。

